

北イスラエル.サマリア陥落.

南イスラエル.エルサレム陥落.

列王記第二 17

6 ホセアの第九年になって、アッスリヤの王はついにサマリヤを取り、イスラエルの人々をアッスリヤに捕えていつて、ハラと、ゴザンの川ハボルのほとりと、メデアの町々においた。

列王記第二 17

13 主はすべての預言者、すべての先見者によってイスラエルとユダを戒め、「翻つて、あなたがたの悪い道を離れ、私があなたがたの先祖たちに命じ、また私のしもべである預言者たちによってあなたがたに伝えたすべての律法のとおりに、私の戒めと定めとを守れ」と仰せられたが、

14 彼らは聞きいれず、彼らの先祖たちがその神、主を信じないで、強情であつたように、彼らは強情であつた。

15 そして彼らは主の定めを捨て、主が彼らの先祖たちと結ばれた契約を破り、また彼らに与えられた警告を軽んじ、かつむなししい偶像に従つてむなしくなり、また周囲の異邦人に従つた。これは主が、彼らのようにおこなつてはならないと彼らに命じられたものである。

列王記第二 17

16 彼らはその神、主のすべての戒めを捨て、自分のために二つの子牛の像を鑄て造り、またアシラ像を造り、天の万象を拝み、かつバアルに仕え、

17 またそのむすこ、娘を火に焼いてささげ物とし、占いおよびまじないをなし、主の目の前に悪をおこなうことに身をゆだねて、主を怒らせた。

18 それゆえ、主は大いにイスラエルを怒り、彼らをみ前から除かれたので、ユダの部族のほか残つた者はなかつた。

歴代誌第二 36

11 ゼデキヤは王となつた時二十一歳で、十一年の間エルサレムで世を治めた。

12 彼はその神、主の前に悪を行い、主の言葉を伝える預言者エレミヤの前に、身をひくくしなかつた。

13 彼はまた、彼に神をさして誓わせたネブカデネザル王にもそむいた。彼は強情で、その心をかたくなにして、イスラエルの神、主に立ち返らなかつた。

14 祭司のかしらたちおよび民らもまた、すべて異邦人のものもろの憎むべき行為にならつて、はなはだしく罪を犯し、主がエルサレムに聖別しておかれた主の宮を汚した。

15 その先祖の神、主はその民と、すみかをあわれむがゆえに、しきりに、その使者を彼らにつかわされたが、

16 彼らが神の使者たちをあざけり、その言葉を軽んじ、その預言者たちをのしつたので、主の怒りがその民に向かつて起り、ついに救うことができないうようになつた。

ネヘミヤ記 9

26 それにもかかわらず彼らは不従順で、あなたにそむき、あなたの律法を後に投げ捨て、彼らを戒めて、あなたに立ち返らせようとした預言者たちを殺し、大いに汚し事を行いました。

27 そこであなたは彼らを敵の手に渡して苦しめられました。あなたがその苦難の時にあなたに呼ばわつたので、あなたは天からこれを聞かれ、大いなるあわれみをもつて彼らに救う者を与え、敵の手から救わせられました。

28 ところが彼らは安息を得るやいなや、またあなたの前に悪事を行つたので、あなたは彼らを敵の手に捨て置いて、これに治めさせられましたが、彼らがまた立ち返つてあなたに呼ばわつたので、あなたは天からこれを聞き、あわれみをもつてしばしば彼らを救ひ出し、

29 彼らを戒めて、あなたの律法に引きもどそうとされまじた。けれども彼らはごうまんにふるまい、あなたの戒めに従わず、人がこれを行うならば、これによつて生きるというあなたのおきてを破つて罪を犯し、肩をそびやかし、かたくなになつて、聞き従おうとはしませんでした。

30 それでもあなたは年久しく彼らを忍び、あなたの預言者たちにより、あなたの命じられたことを彼らに戒められました。彼らは耳を傾けなかつたので、彼らを国々の民の手に渡されました。

31 しかしあなたは大いなるあわれみによつて彼らを絶やさず、また彼らを捨てられませんでした。あなたは恵みあり、あわれみある神でいらせられるからです。

使徒行伝 7

51 ああ、強情で、心にも耳にも割礼のない人たちよ。あなたがたは、いつも聖霊に逆らつてゐる。それは、あなたがたの先祖たちと同じである。

52 いったい、あなたがたの先祖が迫害しなかつた預言者が、ひとりでもいたか。彼らは正しいかたの来ることを予告した人たちを殺し、今やあなたがたは、その正しいかたを裏切る者、また殺す者となつた。

53 あなたがたは、御使たちによつて伝えられた律法を受けただのに、それを守ることをしなかつた」。

使徒行伝 6

11 そこで、彼らは人々をそそのかして、「私たちは、彼がモーセと神とを汚す言葉を吐くの聞いた」と言わせた。

12 その上、民衆や長老たちや律法学者たちを煽動し、彼を襲つて捕えさせ、議會にひっぱつてこさせた。

13 それから、偽りの証人たちを立てて言わせた、「この人は、この聖所と律法とに逆らう言葉を吐いて、どうしても、やめようとはしません。」

14 『あのナザレ人イエスは、この聖所を打ちこわし、モーセが私たちに伝えた慣例を変えてしまつたらう』などと、彼が言うのを、私たちは聞きまじした」。

エルサレム城壁再建.

ステパノスの証言.

(エルサレム陥落)

バベルが預言者を殺す

列王記第一 18

1 多くの日を経て、三年目に主の言葉がエリヤに臨んだ、「行って、あなたの身をアハブに示しなさい。私は雨を地に降らせる」。

2 エリヤはその身をアハブに示そうとして行った。その時、サマリヤにききんが激しかった。

3 アハブは家づかきオバデヤを召した。(オバデヤは深く主を恐れる人で、

4 イゼベルが主の預言者を断ち滅ぼした時、オバデヤは百人の預言者を救い出して五十人ずつほら穴に隠し、パンと水をもって彼らを養った)。

オバデヤ

列王記第一 18

16 オバデヤは行ってアハブに会い、彼に告げたので、アハブはエリヤに会おうとして行った。

17 アハブはエリヤを見たとき、彼に言った、「イスラエルを悩ます者よ、あなたはここにいるのですか」。

18 彼は答えた、「私がイスラエルを悩ますものではありません。あなたと、あなたの父の家が悩ましたのです。あなたがたが主の命令を捨て、バアルに従ったためです。

19 それで今、人をつかわしてイスラエルのすべての人およびバアルの預言者四百五十人、ならびにアシラの預言者四百人、イゼベルの食卓で食事する者たちをカルメル山に集めて、私の所にこさせなさい」。

エリヤがバアルの預言者と戦う

列王記第一 18

30 その時エリヤはすべての民にむかって「私に近寄りなさい」と言ったので、民は皆彼に近寄った。彼はこれを行っている主の祭壇を續けた。

31 そしてエリヤは昔、主の言葉がヤコブに臨んで、「イスラエルをあなたの名とせよ」と言われたヤコブの子らの部族の数にしたがって十二の石を取り、

32 その石で主の名によって祭壇を築き、祭壇の周囲に種二セヤをいれるほどの大きさの、みぞを作った。

列王記第一 18

38 そのとき主の火が下って燔祭と、たきぎと、石と、ちりとを焼きつくし、またみぞの水をなめつくした。

39 民は皆見て、ひれ伏して言った、「主が神である。主が神である」。

40 エリヤは彼らに言った、「バアルの預言者を捕えよ。そのひとりも逃がしてはならない」。そこで彼らを捕えたので、エリヤは彼らをキシヨン川に連れくだった、そこで彼らを殺した。

エリヤに逃げさせたバベル

列王記第一 19

1 アハブはエリヤのしたすべての事、また彼がすべての預言者を刀で殺したことをイゼベルに告げたので、

2 イゼベルは使者をエリヤにつかわして言った、「もし私が、あすの今ごろ、あなたの命をあなたの人々のひとりの命のようにしていいないならば、神々がどんなにでも、私を罰してくださいるように」。

3 そこでエリヤは恐れて、自分の命を救うために立つて逃げ、ユダに属するベエルシバへ行って、しもべをそこに残し、

4 自分は一日の道のりほど荒野にはいつて行って、れだまの木の下に座し、自分の死を求めて言った、「主よ、もはや、じゅうぶんです。今私の命を取ってください。私は先祖にまさる者ではありません」。

5 彼はれだまの木の下に伏して眠ったが、天の使が彼にさわり、「起きて食べなさい」と言ったので、

6 起きて見ると、頭のそばに、焼け石の上で焼いたパン一個と、一びんの水があった。彼は食べ、かつ飲んでまた寝た。

7 主の使は再びきて、彼にさわって言った、「起きて食べなさい。道が遠くて耐えられないでしょうから」。

8 彼は起きて食べ、かつ飲み、その食物で力づいて四十日四十夜行って、神の山ホレブに着いた。

9 その所で彼はほら穴にはいつて、そこに宿ったが、主の言葉が彼に臨んで、彼に言われた、「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか」。

10 彼は言った、「私は万軍の神、主のために非常に熱心でありました。イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、刀をもつてあなたの預言者たちを殺したのです。ただ私だけ残りましたが、彼らは私の命を取ろうとしています」。

11 主は言われた、「出て、山の上で主の前に、立ちなさい」。その時主は通り過ぎられ、主の前に大きな強い風が吹き、山を裂き、岩を砕いた。しかし主は風の中におられなかった。風の後に地震があったが、地震の中にも主はおられなかった。

12 地震の後に火があつたが、火の中にも主はおられなかった。火の後に静かな細い声が聞えた。

13 エリヤはそれを聞いて顔を外套に包み、出てほら穴の口に立つと、彼に語る声が聞えた、「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか」。

14 彼は言った、「私は万軍の神、主のために非常に熱心でありました。イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、刀であなたの預言者たちを殺したからです。ただ私だけ残りましたが、彼らは私の命を取ろうとしています」。

15 主は彼に言われた、「あなたの道を帰って行って、ダマスコの荒野におもむき、ダマスコに着いて、ハザエルに油を注ぎ、スリヤの王としなさい」。

16 またニムシの子エヒウに油を注いでイスラエルの王としなさい。またアベルメホラのシャパテの子エリヤに油を注いで、あなたに代つて預言者としなさい。

17 ハザエルのつるぎをのがれる者をエヒウが殺し、エヒウのつるぎをのがれる者をエリヤが殺すであろう。

18 また、私はイスラエルのうちに七千人を残すであろう。皆バアルにひぎをかがめず、それに口づけしない者である」。

祭壇をこわし、
預言者を殺す。)

幸い×8 山上説教

マタイによる福音書5
 10 義のために迫害されてきた人たちは、
 さいわいである、
 天国は彼らのものである。
 11 私のために人々があなたがたをのしり、また迫害し、
 あなたがたに對し偽って様々の悪口を言う時には、あ
 なたがたは、さいわいである。
 12 喜び、よろこべ、天においてあなたがたの受ける報いは
 大きい。あなたがたより前の預言者たちも、同じよう
 に迫害されたのである。

マタイによる福音書23

29 偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わ
 ざわいである。あなたがたは預言者の墓を建て、義人
 の碑を飾り立てて、こう言っている、
 30 『もし私たちが先祖の時代に生きていたなら、預言者の
 血を流すことに加わってはいなかっただろう』と。
 31 このようにして、あなたがたは預言者を殺した者の子孫
 であることを、自分で証明している。
 32 あなたがたもまた先祖たちがした悪の枘目を満たすがよ
 い。
 33 へびよ、まむしの子らよ、どうして地獄の刑罰をのがれ
 ることができようか。
 34 それだから、私は、預言者、知者、律法学者たちをあなた
 がたにつかわすが、そのうちのある者を殺し、また
 十字架につけ、そのある者を会堂でむち打ち、また町
 から町へと迫害して行くであらう。

35 こうして義人アベルの血から、聖所と祭壇との間であな
 たがたが殺したバラキヤの子ザカリヤの血に至るま
 で、地上に流された義人の血の報いが、ことごとくあ
 なたがたに及ぶであらう。
 36 よく言っておく。これらのことの報いは、みな今の時代
 に及ぶであらう。

37 ああ、エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、お
 まえにつかわされた人たちを石で打ち殺す者よ。ちょ
 うど、めんどりが翼の下にそのひなを集めるように、
 私はおまえの子らを幾たび集めようとしたことであら
 う。それなのに、おまえたちは応じようとしなかつ
 た。

38 見よ、おまえたちの家は見捨てられてしまふ。

39 私は言っておく、『主の御名によつてきたる者に、祝福
 あれ』

とおまえたちが言う時までは、今後ふたたび、私に会う
 ことはないであらう』。

24:-25: ←
 神殿崩壊

ぶどう園の農夫とモバ. 相續子.

マタイによる福音書21
 25 ヨハネのバプテスマはどこからきたのであったか。天か
 らであったか、人からであったか。すると、彼らは
 互に論じて言った、「もし天からだと言えば、では、
 なぜ彼を信じなかったのか、とイエスは言うだろう。
 26 しかし、もし人からだと言えば、群衆が恐ろしい。人々
 がみなヨハネを預言者と思っているのだから」。

マタイによる福音書21

32 というのは、ヨハネがあなたがたのところにきて、義の
 道を説いたのに、あなたがたは彼を信じなかった。と
 ころが、取税人や遊女は彼を信じた。あなたがたはそ
 れを見たのに、あとになつても、心をいれ変えて彼を
 信じようとしなかった。

33 もう一つの譬を聞きなさい。ある所に、ひとりの家の
 主人がいたが、ぶどう園を造り、かきをめぐらし、そ
 の中に酒ぶねの穴を掘り、やぐらを立て、それを農夫
 たちに貸して、旅に出かけた。

34 収穫の季節がきたので、その分け前を受け取ろうとし
 て、僕たちを農夫のところへ送った。

35 すると、農夫たちは、その僕たちをつかまえて、ひとり
 を袋だたきにし、ひとり殺し、もうひとりを石で打
 ち殺した。

36 また別に、前よりも多くの僕たちを送ったが、彼らをも
 同じようにあしらった。

37 しかし、最後に、私の子は敬つてくれるだろうと思つ
 て、主人はその子を彼らの所につかわした。

38 すると農夫たちは、その子を見て互に言った、『あれは
 あと取りだ。さあ、これを殺して、その財産を手に入
 れよう』。

39 そうして彼をつかまえて、ぶどう園の外に引き出して殺し
 た。

マタイによる福音書21

45 祭司長たちやパリサイ人たちがこの譬を聞いたとき、
 自分たちのことをさして言っておられることを悟つた
 ので、

46 イエスを捕えようとしたが、群衆を恐れた。群衆はイエ
 スを預言者だと思つていたのである。

ローマ人への手紙11

1そこで、私は問う、「神はその民を捨てたのであろうか」。断じてそうではない。私もイスラエル人であり、アブラハムの子孫、ベニヤミン族の者である。

2神は、あらかじめ知っておられたその民を、捨てることはされなかった。聖書がエリヤについてなんと云っているか、あなたがたは知らないのか。すなわち、彼はイスラエルを神に訴えてこう言った。

3「主よ、彼らはあなたの預言者たちを殺し、あなたの祭壇をこぼち、そして、私ひとりを取り残されたのに、彼らは私のいのちをも求めています」。

4しかし、彼に対する御告げはなんであったか、「バアルにひざをかがめなかった七千人を、私のために残しておいた」。

5それと同じように、今の時にも、恵みの選びによって残された者がいる。

ヨハネの黙示録2

20しかし、あなたに対して責むべきことがある。あなたは、あのイゼベルという女を、そのなすがままにさせている。この女は女預言者と自称し、私の僕たちを教え、惑わして、不品行をさせ、偶像にささげたものを食べさせている。

21私は、この女に悔い改めるおりを与えたが、悔い改めてその不品行をやめようとはしない。

ヨハネの黙示録16

22見よ、私はこの女を病の床に投げ入れる。この女と姦淫する者をも、悔い改めて彼女のわざから離れなければ、大きな患難の中に投げ入れる。

23また、この女の子供たちをも打ち殺そう。こうしてすべての教会は、私が人の心の奥底までも探り知る者であることを悟るであろう。そして私は、あなたがたひとりびとりのわざに応じて報いよう。

ヨハネの黙示録18

6聖徒と預言者との血を流した者たちに、血をお飲ませになりましたが、それは当然のことです。

ヨハネの黙示録18
 24また、預言者や聖徒の血、さらに、地上で殺されたすべての者の血が、この都で流されたからである」。

テテウ教会への手紙

預言者の血を流す

- モセvsパロの校読
- エレミヤ
- ステパノ
- パウロ(囚人)
- ダニエル

ヨハネの黙示録1
 2ヨハネは、神の言とイエス・キリストのあかしと、すなわち、自分が見たすべてのことをあかした。

ヨハネの黙示録1

9あなたがたの兄弟であり、共にイエスの苦難と御国と忍耐とにあずかっている、私ヨハネは、神の言とイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。

ヨハネの黙示録6

9小羊が第五の封印を解いた時、神の言のゆえに、また、そのあかしを立てたために、殺された人々の靈魂が、祭壇の下にいるのを、私は見た。

ヨハネの黙示録20

4また見ていると、かず多くの座があり、その上に人々がすわっていた。そして、彼らにさばきの権が与えられていた。また、イエスのあかしをし神の言を伝えたために首を切られた人々の霊がそこにおり、また、獣をもその像をも拝まず、その刻印を額や手に受けることをしなかった人々がいた。彼らは生きかえって、キリストと共に千年の間、支配した。

ヨハネの黙示録16

13また見ると、龍の口から、獣の口から、にせ預言者の口から、かえるような三つの汚れた霊が出てきた。

ヨハネの黙示録19

20しかし、獣は捕えられ、また、この獣の前でしるしを行って、獣の刻印を受けた者とその像を拝む者との惑わしたにせ預言者も、獣と共に捕えられた。そして、この両者とも、生きながら、硫黄の燃えている火の池に投げ込まれた。

ヨハネの黙示録20

10そして、彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄との池に投げ込まれた。そこには、獣もにせ預言者もいて、彼らは世々限りなく日夜、苦しめられるのである。

ヨハネの黙示録21

8しかし、おくびょうな者、信じない者、忌むべき者、人殺し、姦淫を行う者、まじないをする者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者には、火と硫黄の燃えている池が、彼らの受くべき報いである。これが第二の死である」。

神のこぼれとイエスのあかし

にせ預言者は火と硫黄の池に

流刑

殺す

ダニエル書 9

- 1 メデアびとアハシユエロスの子ダリヨスが、カルデヤびとの王となったその元年、
- 2 すなわちその治世の第一年に、われダニエルは主が預言者エレミヤに臨んで告げられたその言葉により、エルサレムの荒廃の終るまでに経ねばならぬ年の数は七十年であることを、文書によって悟った。
- 3 それで私は、わが顔を主なる神に向け、断食をなし、荒布を着、灰をかぶって祈り、かつ願い求めた。

ダニエル書 9

- 4 すなわち私は、わが神、主に祈り、ざんげして言った、「ああ、大いなる恐るべき神、主、おのれを愛し、おのれの戒めを守る者のために契約を保ち、いつくしみを施される者よ、
- 5 われわれは罪を犯し、悪をおこない、よこしまなふるまいをなし、そむいて、あなたの戒めと、おきてを離れました。

- 6 われわれはまた、あなたのしもべなる預言者たちが、あなたの名をもつて、われわれの王たち、君たち、先祖たち、および国のすべての民に告げた言葉に聞き従いませんでした。

- 7 主よ、正義はあなたのもですが、恥はわれわれに加えられて、今日のような有様です。すなわちユダの人々、エルサレムの住民および全イスラエルの者は、近き者も、遠き者もみな、あなたが追いやられたすべての国々で恥をこうむりました。これは彼らがあなたにそむいて犯した罪によるのです。

- 8 主よ、恥はわれわれのもの、われわれの王たち、君たちおよび先祖たちのものです。これはわれわれがあなたにむかつて罪を犯したからです。
- 9 あわれみと、ゆるしはわれわれの神、主のもので。これはわれわれが彼にそむいたからです。

- 10 またわれわれの神、主のみ声に聞き従わず、主がそのしもべ預言者たちによって、われわれの前に賜わった律法を行わなかったからです。

- 11 ことにイスラエルの人々は皆あなたの律法を犯し、離れ去って、あなたのみ声に聞き従わなかったので、神のしもべモーセの律法にしろされたのろいと誓いが、われわれの上に注ぎかかりました。これはわれわれが神にむかつて罪を犯したからです。

- 12 すなわち神は大いなる災をわれわれの上にくだして、さきになわれわれと、われわれを治めたつかさたちにむかつて告げられた言葉を実行されたのです。あのエルサレムに臨んだような事は、全天下にいまだかつてなかつた事です。

- 13 モーセの律法にしろされたように、この災はすべてわれわれに臨みましたが、なわれわれの神、主の恵みを請い求めることをせず、その不義を離れて、あなたの真理を悟ることをもしませんでした。

- 14 それゆえ、主はこれを心に留めて、災をわれわれに下されたのです。われわれの神、主は、何事をされるにも、正しくあらせられます。ところが、われわれはそのみ声に聞き従わなかったのです。

- 15 われわれの神、主よ、あなたは強きみ手をもって、あなたの民をエジプトの地から導き出して、今日のように、み名をあげられました。われわれは罪を犯し、よこしまなふるまいをしました。

- 16 主よ、どうぞあなたが、これまで正しいみわざをなされたように、あなたの町エルサレム、あなたの聖なる山から、あなたの怒りと憤りを取り去ってください。

これはわれわれの罪と、われわれの先祖の不義のために、エルサレムと、あなたの民が、われわれの周囲の者の物笑いとなったからです。

- 17 それゆえ、われわれの神よ、しもべの祈と願いを聞いてください。主よ、あなたご自身のために、あの荒れたあなたの聖所に、あなたのみ顔を輝かせてください。

- 18 わが神よ、耳を傾けて聞いてください。目を開いて、われわれの荒れたさまを見、み名をもつてとなえられる町をごらんください。われわれがあなたの前に祈をささげるのは、われわれの義によるのではなく、ただあなたの偉いなるあわれみによるのです。

- 19 主よ、聞いてください。主よ、ゆるしてください。主よ、み心に留めて、おこなってください。わが神よ、あなたご自身のために、これを延ばさないでください。あなたの町と、あなたの民は、み名をもつてとなえられているからです」。

ダニエル書 9

- 20 私がこう言つて祈り、かつわが罪とわが民イスラエルの罪をざんげし、わが神の聖なる山のために、わが神、主の前に願いをしていたとき、

- 21 すなわち私が祈の言葉を述べていたとき、私が初めに幻のうちに見た、かの人ガブリエルは、すみやかに飛んできて、夕の供え物をささげるころ、私に近づき、

ダニエル書 9

- 22 私に告げて言った、「ダニエルよ、私は今あなたに、知恵と悟りを与えるためにきました。

- 23 あなたが祈を始めたとき、み言葉が出たので、それをあなたに告げるためにきたのです。あなたは偉いに愛せられている者です。ゆえに、このみ言葉を考えて、この幻を悟りなさい。

- 24 あなたの民と、あなたの聖なる町については、七十週が定められています。これはとがを終らせ、罪に終りを告げ、不義をあがない、永遠の義をもたらし、幻と預言者を封じ、いと聖なる者に油を注ぐためです。

- 25 それゆえ、エルサレムを建て直せという命令が出てから、メシヤなるひとりの君が来るまで、七週と六十二週あることを知り、かつ悟りなさい。その間に、しかも不安な時代に、エルサレムは広場と街路とをもつて、建て直されるでしょう。

- 26 その六十二週後にメシヤは断たれるでしょう。ただし自分のためにはありません。またきたるべき君の民は、町と聖所とを滅ぼすでしょう。その終りは洪水のように臨むでしょう。そしてその終りまで戦争が続き、荒廃は定められています。

- 27 彼は一週の間多くの者と、堅く契約を結ぶでしょう。そして彼はその週の半ばに、犠牲と供え物とを廢するでしょう。また荒す者が憎むべき者の翼に乗って来るでしょう。こうしてついにその定まった終りが、その荒す者の上に注がれるのです」。